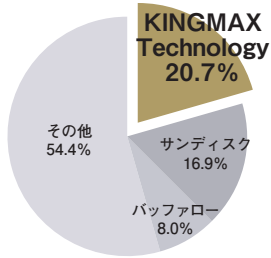


**メモ리카ード部門
メーカーシェア**

4GBのSDHCカード「SDHC4X4G」と、2GBのmicroSDカード「KMMCSD2GB-S」を筆頭に、手頃な価格でユーザーの支持を集めKINGMAXがシェアトップを獲得。SanDiskも信頼性を武器に僅差の2位を堅持し、強さを見せつけた。

(11年1月1日～12月31日までの集計データ)



**価格と品質を両立した
独自の販売戦略が強さの秘密**

デジタルカメラやゲーム機、スマートフォンなど、デジタル家電に欠かすことのできないメモ리카ード。今年BCN AWARDの同部門を初受賞したのが、1989年に創業し、台湾に拠点を置く半導体メモ리카ードのKINGMAX。日本市場に進出したのは4年前で、磁気研究所と共同で商品開発、メモ리카ード事業を展開してきた。

同社の一番の強みは、低価格と高品質にある。昨年のメモ리카ードの売れ筋である容量4GBのSD

**編集部の
ひと言**

データの大容量化が進んでいるのは、デジカメやスマートフォンだけではなく。たとえばカーナビでも、地図データや音楽データの容量はアップしている。カーナビで使用するSDカードも、デジカメやスマートフォン同様、大容量・高速転送が求められている。(清水隆哉)

HCメモ리카ードは平均市場価格が約1200円だが、同社製品は約700円と圧倒的な安さだ。材料のシリコンチップの仕入れ先を固定するとともに、徹底した在庫管理と生産調整を行うことで、このバリエーションを実現している。

また常に品質の向上にも取り組んでいる。すべての生産工程で品質チェックを行い、出荷前の検品では、一つ一つの製品をテストし、さらにデジタル家電の新機種が出るたびに、いち早くマッチングテストを行っている。

今後の注目製品は、転送速度55MB/秒のSDHC/SDXC「pro max」シリーズと25MB/秒の「pro」シリーズだ。転送速度が速く、デジタル一眼レフやデジタルビデオカメラでの快適な操作性を実現する。今後スペックアップが確実なスマートフォンでは、高速・大容量のメモ리카ードは必須である。こうしたハイパフォーマンスを低価格で実現するKINGMAX製品は、今後も支持を集めるだろう。

Company Profile

台湾を拠点に、フラッシュメモリやDRAMといった半導体メモリの開発・製造を手がけ、アジアや欧米などを中心にグローバルな商品展開を行うKINGMAX。グループ内で企画・開発・生産までを一貫して手がけ、圧倒的な品質・低価格・製品の安定供給体制を実現している



**圧倒的なコストパフォーマンスと
品質で初受賞を勝ち取る**
初受賞 **KINGMAX Technology** / 磁気研究所



新製品

転送速度55MB/秒のSDHC/SDXCカード「pro max」シリーズと、25MB/秒の「pro」シリーズ。KINGMAX。両シリーズともに、通常モデルと防水モデルを用意。

BCN AWARD 2012 メモ리카ード部門